

平和への思いを胸に



被爆者のかたから若者まで世代を超えて参加しました

国連軍縮週間(10月24日～30日)に合わせて、10月26日、原爆犠牲者慰霊・世界平和祈念「市民大行進」を開催。約3,000人の参加者は原爆犠牲者の冥福を祈るとともに、世界平和を願って平和公園から原爆落下中心地まで行進しました。

行進後の集会では、原爆投下時刻に全員で黙とう。原さく乃さん(梅香崎中3年)が「核兵器を絶対に許さないという意志を強く示し、平和への道をみんなで歩んでいきます」と宣言しました。

■問い合わせ 被爆継承課(☎844-3913)

長年の自治会活動に感謝



地域の課題に率先して取り組んでいただきました

11月9日、住みよいまちを築くための自治会活動に貢献された方々を表彰する「ながさき自治振興推進大会」を開催。永年在职自治会会長102人、自治会役員功労者45人、保健環境美化功労者20人の皆さまに感謝状を贈りました。

表彰のあと、「防災・ささえ合いマップづくり」など特色ある活動の発表もあり、自治会活動の活性化についてあらためて考える機会となりました。

■問い合わせ 自治振興課(☎829-1134)

地域住民の相談役として



12月からの3年間、地域福祉にご尽力いただきます

11月11日、高齢者福祉や児童福祉など福祉の充実に活躍いただいている民生委員・児童委員の任期満了に伴い953人(うち新任171人)に委嘱状が交付されました。また、退任される委員のかた171人に厚生労働大臣感謝状を伝達し、本市の福祉の向上に寄与いただいたことに感謝の意を表しました。

■問い合わせ 福祉総務課(☎829-1161)

新庁舎の建設に向けて 市民会議から報告書が提出



さまざまな意見やアイデアをいただきました

11月15日、市民や関係団体で組織する長崎市新庁舎建設基本計画検討市民会議(鮫島和夫会長)から、新しい市役所に必要な機能などについての提案をまとめた報告書が提出されました。

市民会議の意見は、「市民に親しまれ、つながりの拠点となる庁舎」など5つの項目にまとめられ、報告されました。今後もより多くの市民の皆さんに意見を聴きながら検討を進めます。

■問い合わせ 総合企画室(☎829-1111)